

2025 年 11 月 6 日

阪和興業株式会社
代表取締役社長 中川洋一 様

インドネシアの森林を脅かす木質ペレットの輸入中止を求める要請書

長年、伐採や農園開発で減少を続けてきたインドネシアの豊かな天然林が、現在、「脱炭素」の名のもとに新たな危機に瀕しています。バイオマス発電や石炭混焼などの燃料である木質ペレット生産のためにエネルギー産業用造林（HTE）が設定され、天然林の伐採および人工林への転換が進んでいるのです。2019 年に 13 の HTE の造成が開始され、2025 年には 57 箇所拡大しました。

インドネシアの NGO の試算では、現在、130 万 ha もの森林が HTE に指定され、木質ペレット生産のために伐採や土地利用転換の危機に瀕しています。

とりわけスラウェシ島北部ゴロンタロ州の状況は深刻です。天然林の伐採や人工林への転換、それによる豊かな生物多様性の破壊や洪水リスクの増大、地元のコミュニティが従来行ってきた土地・森林利用の阻害が生じています。

貴社は、インドネシア・ゴロンタロ州から多くの木質ペレットを輸入されています。これらの木質ペレットは、日本のバイオマス発電所またはバイオマスを混焼する石炭火力発電所の燃料として使われています。しかし、木質ペレットの生産は、上記のように、大きな問題をはらんでいます。インドネシアの環境団体からは、「インドネシアの森は燃料ではない」という大きな懸念の声があがっています。

私たちはこの状況を踏まえ、これ以上、インドネシアの天然林を破壊することがないよう、貴社が木質ペレットの輸入を中止することを要請します。

また、別添の質問書に対してお答えいただけますと幸いです。なお、頂いたご回答は公開させていただきます。

以上

国際環境 NGO FoE Japan
インドネシア環境フォーラム（WALHI）／FoE インドネシア
WALHI ゴロンタロ
Forest Watch Indonesia
Trend Asia

お問い合わせ先：国際環境 NGO FoE Japan
国際環境 NGO FoE Japan
〒173-0037 東京都板橋区小茂根 1-21-9
TEL: 03-6909-5983 / FAX: 03-6909-5986



インドネシアの木質ペレットに関する質問書

1. 貴社は、木質ペレットの輸入が現地の天然林の伐採、生物多様性の破壊、地元住民の土地・森林利用の阻害につながっていることについて、どのような認識をお持ちですか。またその認識をお持ちになった根拠となる情報はどのようなものでしょうか？
2. このような状況は、貴社の環境や社会に対する方針(*1, *2)、とりわけ自然環境や人権への配慮に整合しないのではないのでしょうか。

*1 環境方針 行動指針

<https://www.hanwa.co.jp/csr/environment/management.html>

*2 阪和興業グループ人権方針

<https://www.hanwa.co.jp/csr/society/human-rights.html>

3. 貴社は、「輸入木質ペレットに対する合法性、持続可能性を証明するための自主的な取組」として、「合法性、持続可能性に準じた原材料調達方針の制定」「自主的デューデリジェンスの実施」等を行っているとしています。
 - 1) 「合法性、持続可能性に準じた原材料調達方針」を開示していただけますか。
 - 2) 「自主的デューデリジェンス」において、貴社がゴロンタロ州で製造された木質ペレットを調達する際に、以下についてどのような書類や情報を根拠にして確認されていますか？
 - ①木質ペレットの生産による天然林への影響について
 - ②伐採地周辺の村々および住民の方々への影響について
 - ③(a)トレーサビリティ（由来証明）、(b)合法性、(c)持続可能性のそれぞれの確認について

以 上